

【実態把握用】 評価用図版・カード

1 段階①～⑩ 15 枚

+形の弁別カード

2 段階①～⑩ 14 枚

+平仮名カード、単語カード、50音の読み記録表、濁音・半濁音記録表

3 段階①～⑧ 11 枚

+話の順序性カード、片仮名カード

使用上の留意点

※児童が指さして回答する課題において、指さしが難しい状態のときには、教師が選択肢を指さして児童の回答を確認しても構わない。

使いやすくするための準備



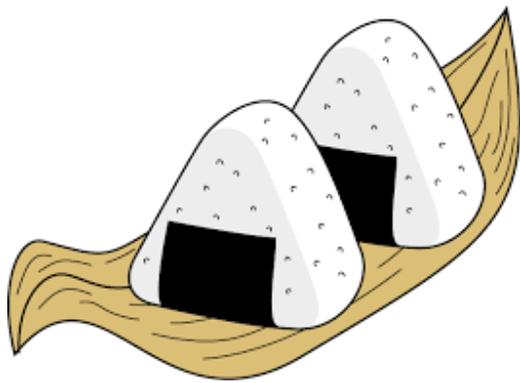
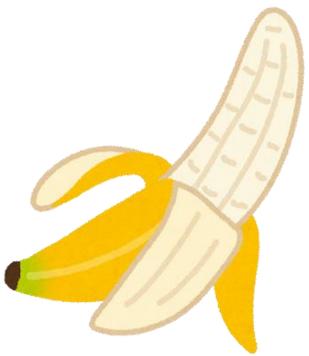
印刷した「評価用図版・カード」は、ラミネート加工し、段階ごとにまとめておくとしやすく使えます。カードは児童が手にとって使うものもあるため、角を丸くしておくとう安全です。

1 段階

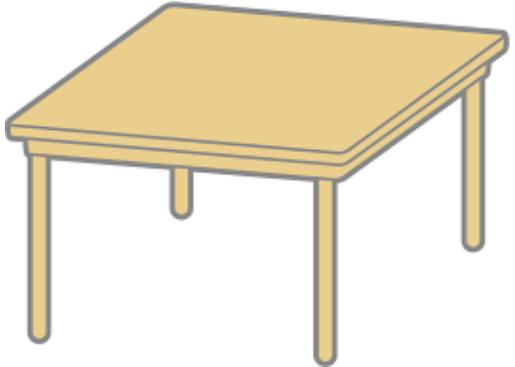
図版①～⑩ 15枚

+形の弁別カード

評価シート 1段階 図版①
◆身近な物の名称の理解 (食べ物)
・「おにぎり (おむすび) はどれですか?指さして教えてね」と聞き、指さして答えさせる。順不同で、「ハンバーグ」「ケーキ」「バナナ」についても同様に聞く。 ※「おにぎり」で通じないときは「おむすび」を試す。

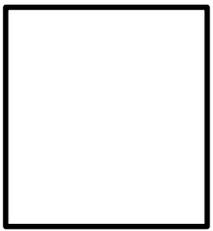
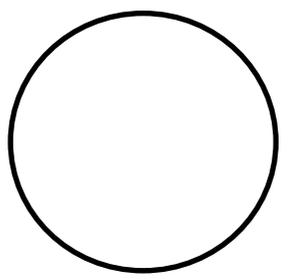
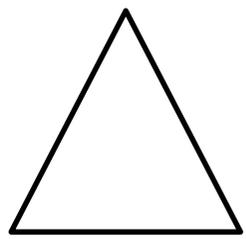


評価シート 1段階 図版②
◆身近な物の名称の理解(物)
・『つゝえ』はどれ?指さして教えてね」と聞く。「えんぴつ」「テレビ」「ボール」「コップ」も順不同に聞く。

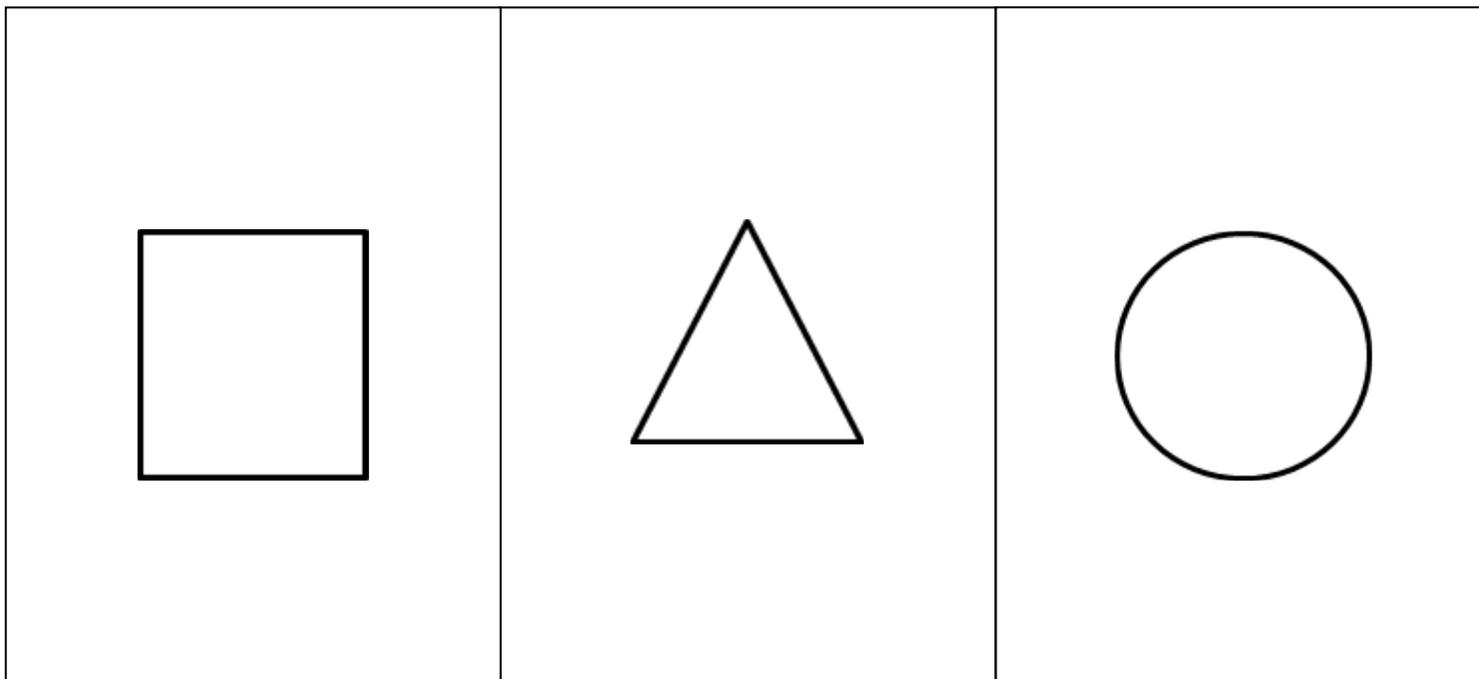


◆形の弁別

・下の○△□を指さして「この中から選んでね」と言ってから、○カードを見せて「この形と同じのはどれ？指さして教えてね」と聞
く。△□も同様に聞く。〈 ○ △ □ 〉



評価シート 1段階 図版③ 形の弁別カード
切り取って使う。



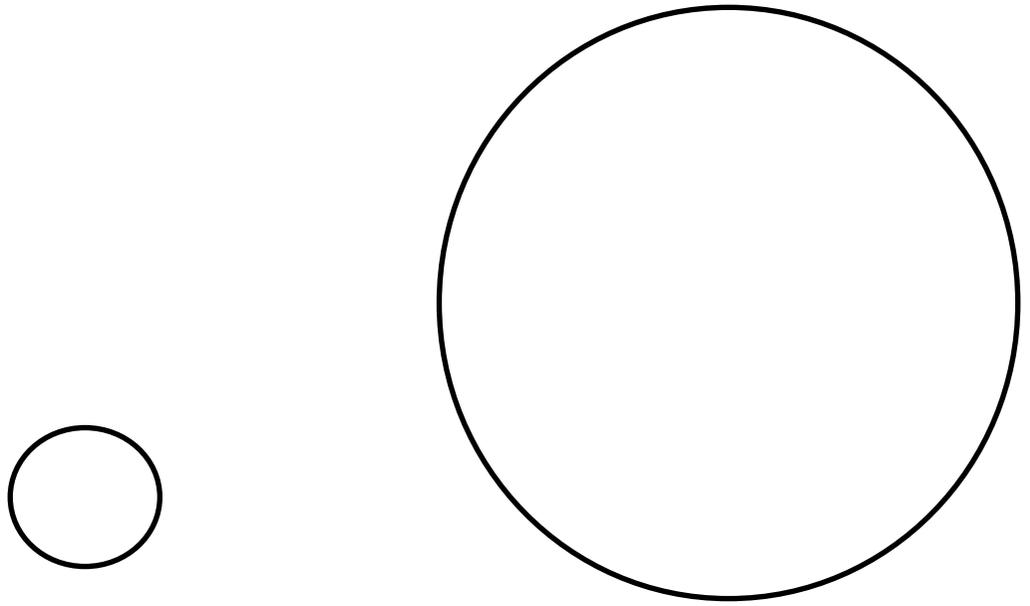
◆動作を表すことば
・『食べる』はどれ?指さして教えてね」と聞く。「飲む」「飲む」「泳ぐ」「寝る」「座る」「走る」についても順不同で聞く。

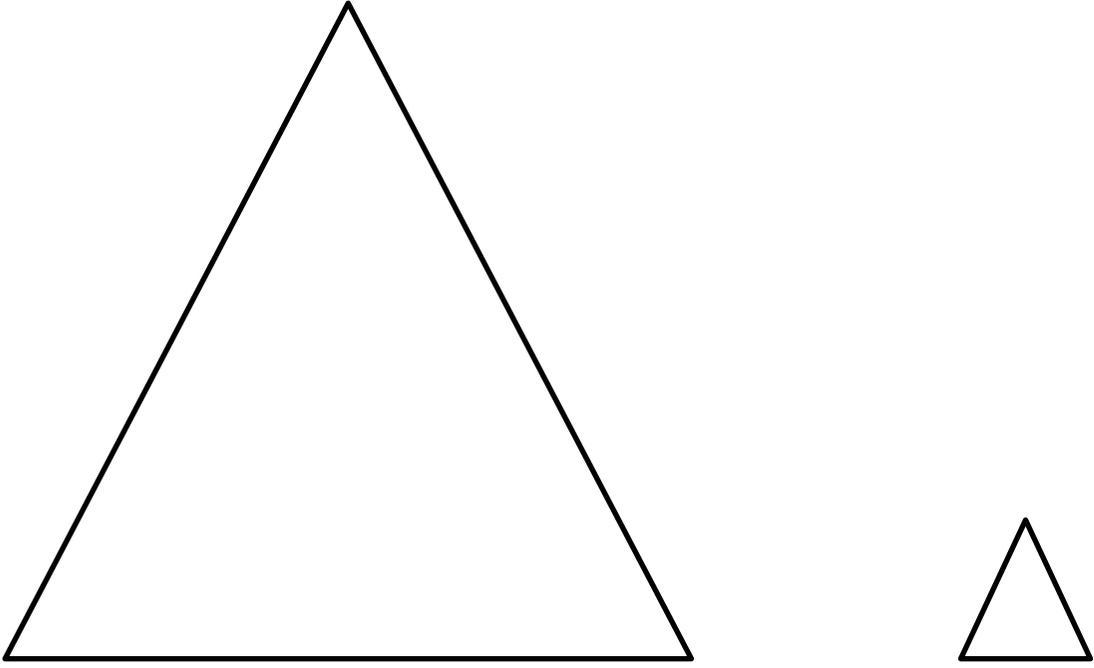
評価シート 1段階 図版④



◆大小理解 ・「指さして教えてね。大きいのはどっち?」と聞く。

評価シート 1段階 図版⑤-1





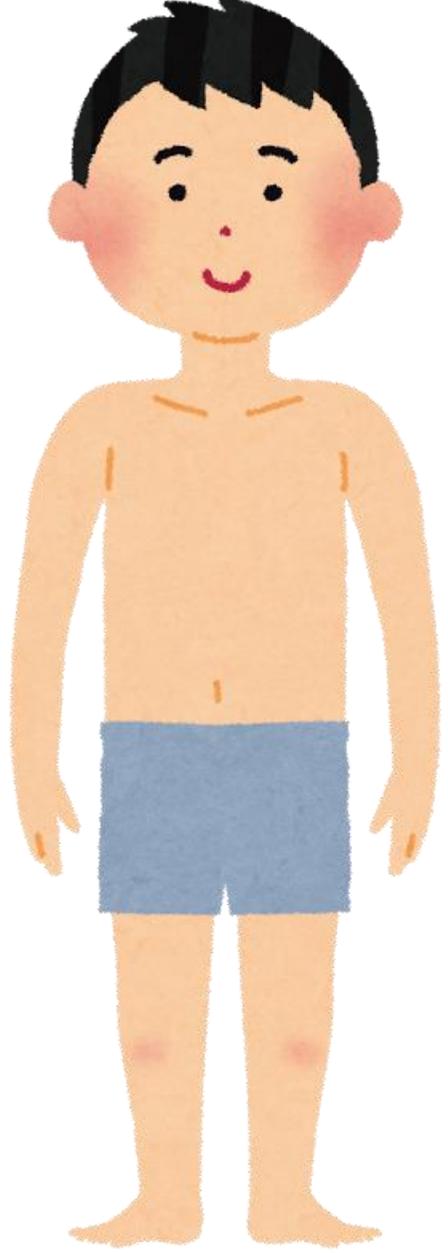
評価シート 1段階 図版⑤-2
◆大小理解 ・「指さして教えてね。小さいのはどちら?」と聞く。

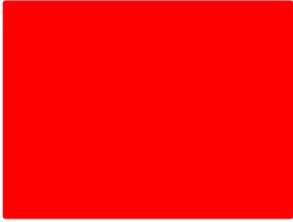
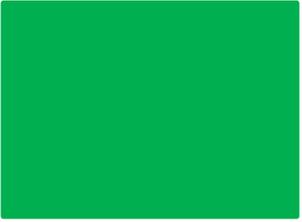
◆大小理解 ・「指さして教えてね。大きいのはどっち？」と聞く。



◆身体部位を表すことばの理解

- ・「これから体のことを聞くから、指さして教えてね。目はどこ?」と聞く。「耳・鼻・口・髪(の毛)・おでこ・首・手・足・おなか・肩・へそ・ひじ・肩」について同様に聞く。





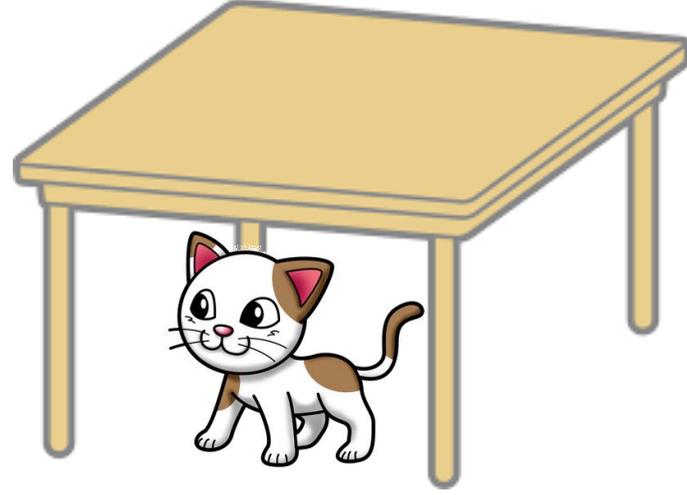
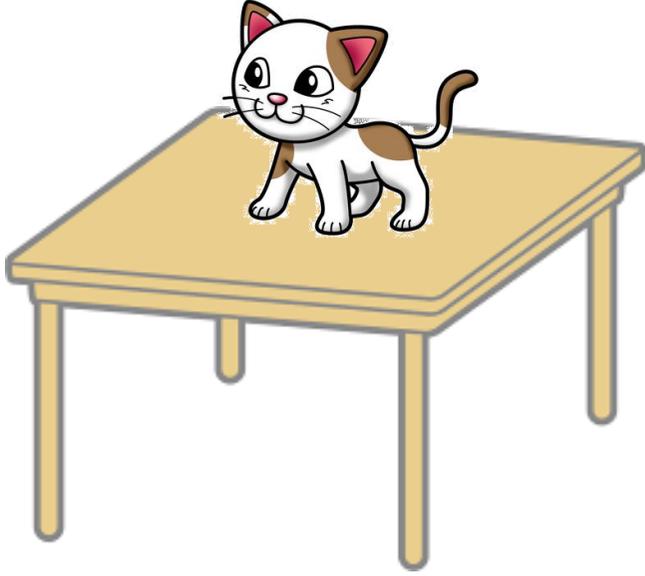
評価シート 1段階 図版⑦

◆色名の理解

◆色の弁別

・「指さして教えてね。赤はどれですか?」と聞く。順不同に、「青」「黄」「緑」についても同様に聞く。
※色覚に問題があることが分かっている場合は行わない。

・「ねこがいます」「机の上にいるのはどちらですか?」「机の下にいるのはどちらですか?」と聞く。

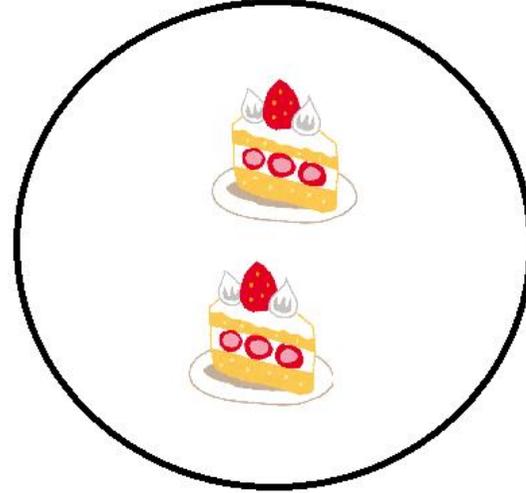




評価シート 1段階 図版⑧-2

◆比較概念 ・「長いのはどっち?」「短いのはどっち?」と聞く。(長い 短い)

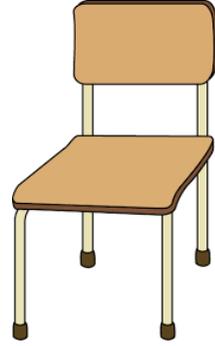
◆比較概念 ・「多いのはどちら?」「少ないのはどちら?」と聞く。(多い、少ない)

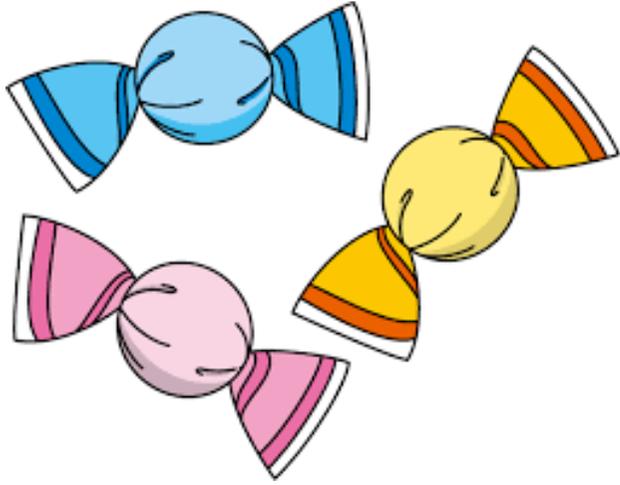
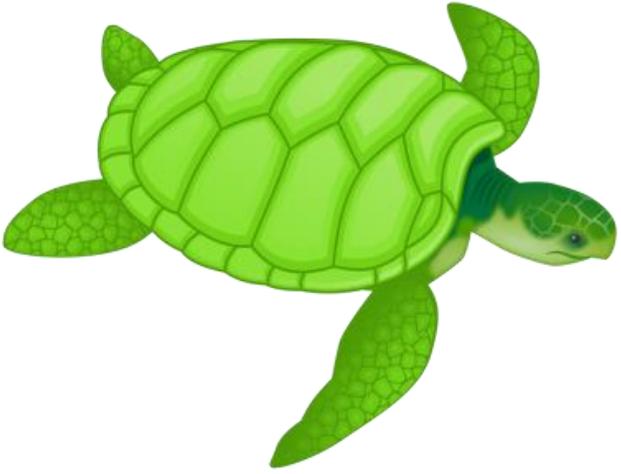


評価シート 1段階 図版⑨

◆身の回りにおける物の用途理解

・絵を見せながら「ことばか指さして教えてね。水を飲むときに使う物はなに？」と聞く。同様に「人が座るときに使う物」「物を切るときに使う物」「何かを食べるときに使う物」「絵を描くときに使う物」「雨が降ってきたときに使う物」「歯を磨くときに使う物」について聞く。

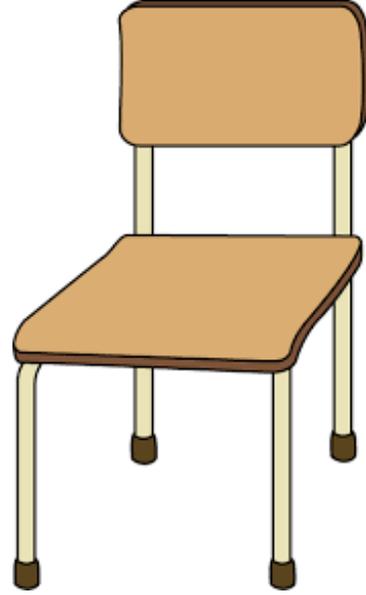




評価シート 1段階 図版⑩-1

◆ことばの聞き分け

・「これから先生が言った方を指さして教えてね」と言ってから、「かめ」と言う。次に「あめ」と言う。
(語頭音の区別ができていないかを確かめる)



評価シート 1段階 図版⑩-2

◆ことばの聞き分け

・「さっきと同じように指さして教えてね。」と言ってから、「いし」と言う。次に「いす」と言う。
(語尾音の区別ができていないかを確かめる)

2 段階

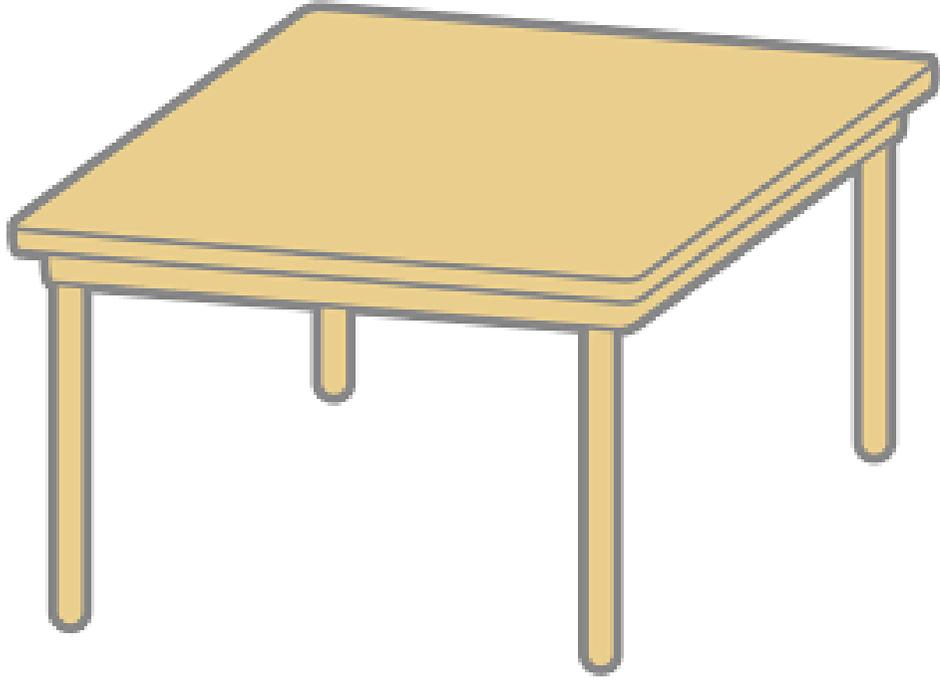
図版①～⑩ 14枚

+平仮名カード、単語カード、50音の読み記録表、濁音・半濁音記録表



評価シート 2段階 図版①-1
◆音節分解

教師が「これはなんですか?」と「ねこ」の絵を指さして聞く。児童が「ねこ」と答えたら「そうだね。ねこだね。ね・こ」と言って、音に合わせ
て2回手をたたく。もう一度「ね・こ」と言って音に合わせて手をたたき、「同じようにやってみよう」と言って児童に促す。



評価シート 2段階 図版①-2

◆音節分解

教師が「これはなんですか?」と「つくえ」の絵を指さして聞く。児童が「つくえ」と答えたら「そうだね。つくえだね。つくえ」と言って、音に合わせて3回手をたたく。もう一度「つくえ」と言って音に合わせて手をたたき、「同じようにやってみよう」と言って児童に促す。

あ	し	て	も	き	の
---	---	---	---	---	---

評価シート 2段階 図版②
◆文字の見分け (形の弁別)

平仮名カードを1枚ずつ提示し、「これと同じのはどれかな?指さしてね」と聞く。

あ

き

し

て

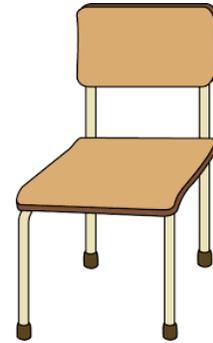
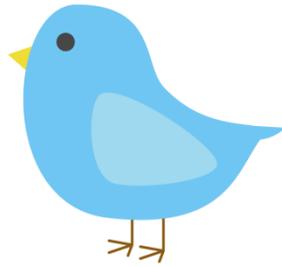
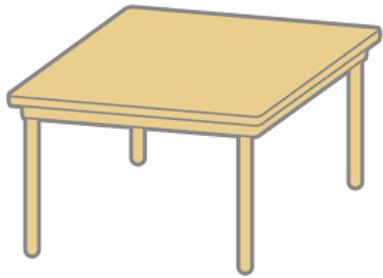
も

の

の	こ	お	か	も
ひ	う	み	ま	し

評価シート 2段階 図版③
◆文字と読み的一致 ・『かめ』の『か』はどれ? と聞き、「か み の し ひ お も こ う ま」から選ばせ
る。『かみ』の『か』、『のど』の『の』、『しお』の『し』、『ひこうき』の『ひ』、『おりがみ』の『お』、『もも』の『も』、
『こめ』の『こ』、『うし』の『う』、『まいく』の『ま』も同様に聞く。

評価シート 2段階 図版④
◆単語の読み ・ それぞれの名称が平仮名で書かれた単語カードを見せて「これはなにかな？読めたら読んで、指さして教えてね」と絵から選ばせる。



2段階 図版④ 単語カード

切り取って使う。

い
ぬ

ね
こ

と
り

と
け
い

くし

しくえ

す

ん	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ	
		り		み	ひ	に	ち	し	き	い	
		る	ゆ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う	
		れ		め	へ	ね	て	せ	け	え	
		を	ろ	よ	も	ほ	の	と	そ	こ	お

◆50音の理解 記録用 読めたものに○を付けておく。このシートは評価シートと一緒に個別ファイル等にはさんで保管しておく。

児童名

年 月 日

ん	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ	
		り		み	ひ	に	ち	し	き	い	
		る	ゆ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う	
		れ		め	へ	ね	て	せ	け	え	
		を	ろ	よ	も	ほ	の	と	そ	こ	お

評価シート 2段階 図版⑥
◆濁音、半濁音の読み・ラシタムに一つずつ指さして「これはなんて書いてある？読んでごらん」と聞かす。

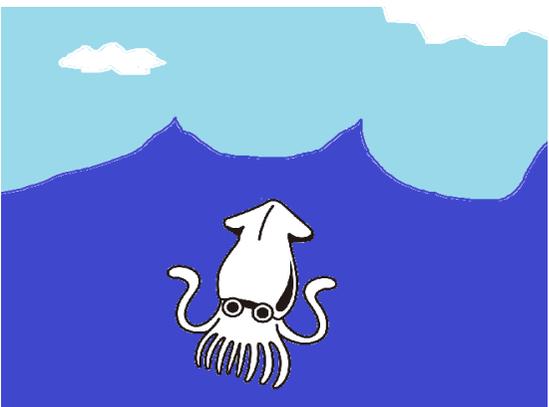
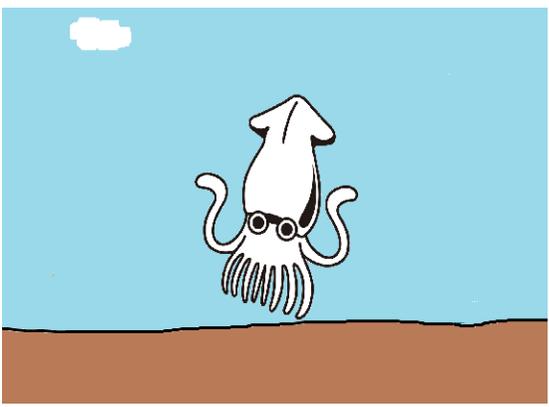
ぱ	ば	だ	ざ	が
ぴ	び	ち	じ	ぎ
ぷ	ぶ	づ	ず	ぐ
ぺ	べ	で	ぜ	げ
ぽ	ぼ	ど	ぞ	ご

◆濁音、半濁音の読み 記録用 読めたものに○を付けておく。このシートは評価シートと一緒に個別ファイル等にはさんで保管しておく。

児童名 _____
_____年 _____月 _____日

ぱ	ば	だ	ざ	が
ぴ	び	ぢ	じ	ぎ
ぷ	ぶ	づ	ず	ぐ
ぺ	べ	で	ぜ	げ
ぽ	ぼ	ど	ぞ	ご

評価シート 2段階 図版⑦-1
◆短い文(二語文)の理解
・「いぬが およぐ」の文を指さし、「読んでください」と言い、音読させる。読み終わったら「それはどの絵かな?」と聞き、ふさわしい絵を選ばせる。読まずに絵を選ぼうとしたときは、文を読もう促す。



い
ぬ
が

お
よ
ぐ

◆短い文（三語文）の理解
・「ぼくは いぬと はした」の文を指さし、「読んでください」と言い、音読させる。読み終わったら「それはどの絵かな？」と聞き、ふさわしい絵を選ばせる。読まずに絵を選ぼうとしたときは、文を読もう促す。

評価シート 2段階 図版⑦-2



ぼくは
いぬと
はした

おとこのこのてをあげる



評価シート 2段階 図版⑧-1

◆助詞の理解

「文を読んでください」と言って、文を読ませる。読み終わったら、「今読んだ文が表している絵はどれですか?」と言って絵を一つ選ばせる。

おかあさんと のむ



評価シート 2段階 図版⑧-2
◆助詞の理解

「文を読んでください」と言って、文を読ませる。読み終わったら、「今、読んだ文が表している絵はどれですか?」と言って絵を一つ選ばせる。

評価シート 2段階 図版⑧-3
◆助詞の理解
「文を読んでください」と言って、文を読ませる。読み終わったら、「今、読んだ文が表している絵はどれですか?」と言って絵を一つ選ばせる。

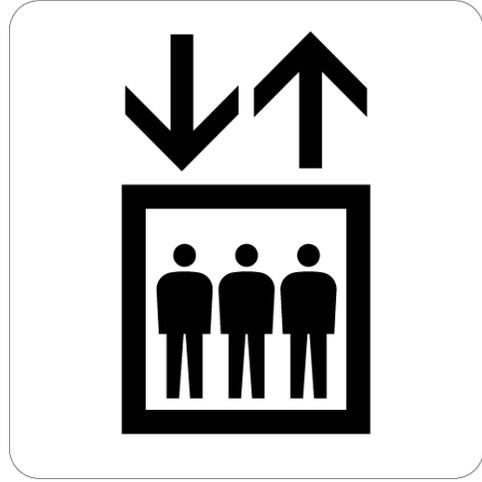
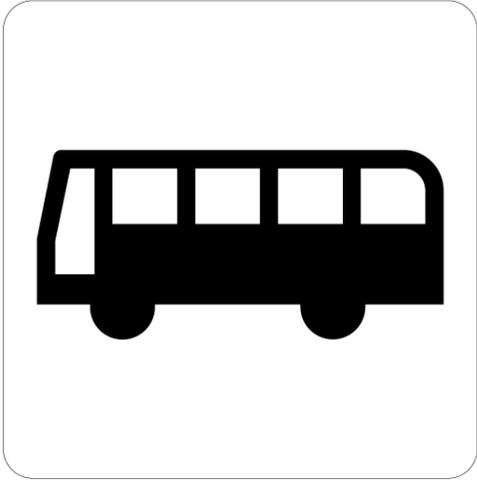
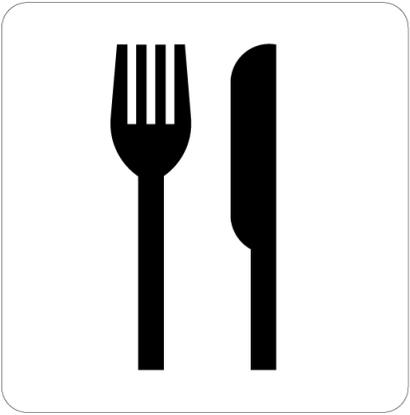


ぼくは
うちに
かえる
いぬも
かえる

◆信号の理解

・「これは信号ですね。横断歩道を渡って良いのは信号がどちらのときですか?」と聞く。
次に「横断歩道を渡らずに待つていなければならないのはどちらのときですか?」と聞く。





評価シート 2段階 図版⑩
◆日常生活で目にするマークの理解

・「これはなにを表しているマークですか？」と全てのマークについて聞く。

3 段階

図版①～⑧ 1 1 枚

+ 話の順序性カード、片仮名カード

評価シート 3段階 図版①

◆三文程度の文章の音読 ・『ひこうき』の文章を、声に出して読んでください。」と言う。

◆簡単な説明文の読み取り

・文章を読み終わったあと、「どんな乗り物が出てきましたか?」「ひこうきはひとや何を運びますか?」と聞く。

※すぐあきらめたり、「分からない。」と言ったりしたときには、「書いてあるから、もう一度よく読んでごらん。」と促す。

ひこうき

ひこうきが、あおい そらを

とんでいきます。

ひこうきは、ひとや にもつを

とおくまで はこびます。

まいにち、たくさん はこびます。

評価シート 3段階 図版②
◆話の順序性

・「この文章を読んでください」と伝え、「うさぎさんは～」の文章を読ませる。読み終わったら、絵カードを指示し、「この絵を文章に書いてあった通りの順番で並べてください。ただし、1枚だけ使いません」と言って絵を話の流れに沿って並べさせる。

※「話の順序性カード」を使用して下さい。

うさぎさんは、うみで ひとりで
あそんでいました。
そこへ、かめくんと きつねくんが
きて、いっしょに あそびました。
ゆうがたになり、きつねくんが
かえってしまいました。

1

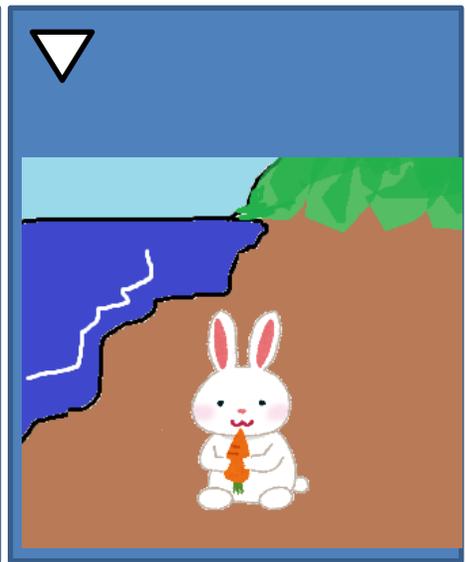
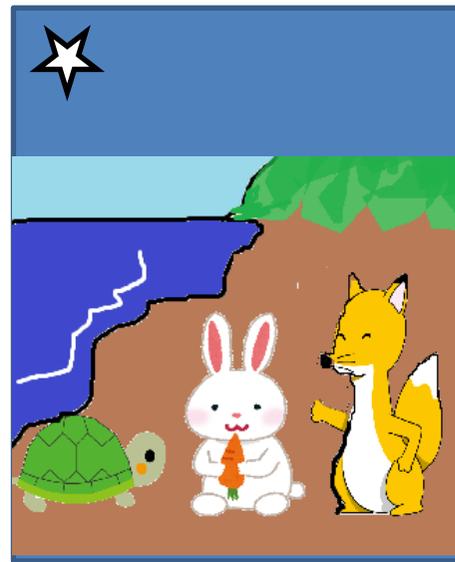


2



3

3段階 図版②話の順序性 話の順序性カード カラー印刷して1枚ずつ切り離して使用



◆短い物語文の読み取り

児童に文章を読むように伝え、読み終わったら、以下のことを問う。文を見ながら答えて良い。

- ①「どんな虫や動物が出てきましたか？」 ②「ありはどうして困っていたのですか？」 ③「どんなお話でしたか？」

ありと はと

ありが、いけに おちました。

「たすけて くれ、

たすけて くれ。」

はとは、木の^きはを

おとして やりました。

「はとさん、ありがとう。」

し
や
り
く
り

ね
っ
い

し
や
り

評価シート 3段階 図版④-1
◆拗音、促音の読み
・単語を一つずつ指さし、「これを読んでください」と言う。

おかあさん

おにいさん

じゅうえん

評価シート 3段階 図版④-2

◆長音、拗長音の読み

・単語を一つずつ指さし、「これを読んでください」と言う。

う	こ	せ	ち	の
---	---	---	---	---

評価シート 3段階図版⑤-1

◆片仮名の読み (平仮名と片仮名の一致)

・片仮名カードを一つずつ提示し、「これと同じ音の平仮名はどれですか?」と聞く。

パンダ

バス

ハム

評価シート 3段階図版⑤-2
◆片仮名の読み(清音、濁音、半濁音の単語)
・単語を一つずつ指さし、「これはなんと読みますか?」と聞く。

トラック

シャツ

ラーメン

フオーク

評価シート 3段階図版⑤-3

◆片仮名の読み(促音、拗音、長音、拗長音の単語)

・単語を一つずつ指さし、「これはなんと読みますか?」と聞く。

コ

ウ

チ

セ

ノ

※教師が、児童の名前を漢字で記入しておく←

七	三	八	一
五	六	二	十
九	四	木	月
金	水	日	火
土	国語	算数	
音楽	体育	図工	

評価シート 3段階 図版⑥

◆身近な漢字の読み ・「この中から読めるものを選んで指さして読んでください」と言う。
※氏名が片仮名の場合は名前は実施しない

評価シート 3段階 図版⑦

◆簡単な表示の意味理解

・入口の表示を指さしながら「このマークはどんなマーク？（どんな意味？）」と聞く。「出口」「非常口」「立ち入り禁止」も同様に聞く。



非常口



◆道路標識の意味理解
・「この道路標識はどんな意味ですか?」と聞く。

評価シート 3段階 図版⑧

